

■お申込み方法

①ホームページから

下記の「つなぐ化」事業ホームページにアクセスし、「お申込みフォーム」よりお申込みください。

<https://public.lec-jp.com/tsunaguka/>



②FAXで

添付の申込み用紙に必要事項をご記入の上、下記番号にご送信ください。

FAX: 03-5913-6409

■お申込みにあたって

- 事業開始日の原則45日前までにお申込みください。
- お申込み後、事務局より、内容・時期などのご相談についてご連絡いたします。
- 日程によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 感染症対策へのご協力をお願いします。
- お申込みの際にいただいた内容・個人情報は事務局にて厳重に管理し、本事業以外の目的では使用しません。

<学校関係者の方へ>

- 本事業は、保護者の方々にも、建設業の役割や魅力、就労環境などをご理解いただき、親子で就職を考える機会にしたいと存じますので、保護者の参加もご検討ください。
- ご参加者移動のためのバスチャーター費、実習の際の材料費等の詳細は事務局へご確認ください。

<建設関係企業・団体の方へ>

- 建設事業主への助成金を希望し、「つなぐ化」事業のお申し込みをされる方は、厚生労働省HP「建設事業主等に対する助成金(旧建設労働者確保育成助成金)」のページに記載の「人材確保等支援助成金【若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業コース(建設分野)】」をご参照の上、必要なお手続きをお願いします。

【検索方法】：厚労省ホーム → 政策について → 各種助成金・奨励金等の制度 → 建設事業主等に対する助成金

- その他よくある質問については、こちらをご覧ください。



□建設キャリアアップシステム(CCUS)のご紹介

建設キャリアアップシステム(CCUS)は、2019年4月に導入された、建設技能者の処遇改善等を進めるための建設産業独自のシステムで、建設技能者一人ひとりの就業履歴や保有資格などをオール建設産業で蓄積・活用する仕組みです。CCUSにより、若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じて給与を引き上げるなど、国土交通省主導のもと、建設業界を挙げてCCUSの普及・活用による処遇改善に取り組んでいます。令和5年度からはあらゆる工事でCCUSを完全実施するため、現在、国土交通省や地方公共団体が発注する公共工事などで活用が進められています。

お問い合わせ先 本事業についての詳細や参加方法、取組内容のご相談などについては、下記までお気軽にお問い合わせください。

厚生労働省委託事業「つなぐ化」事業 運営事務局 株式会社 東京リーガルマインド **LEC**東京リーガルマインド 担当：斎田、久保田

〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル TEL：03-5913-6085(平日10時～17時) E-mail: tunaguka2023@lec.co.jp

「つなぐ化」事業

令和5年度 建設業若年者理解・定着促進事業

これからも大切な建設業の仕事を
未来へ進む若者につないでいきます



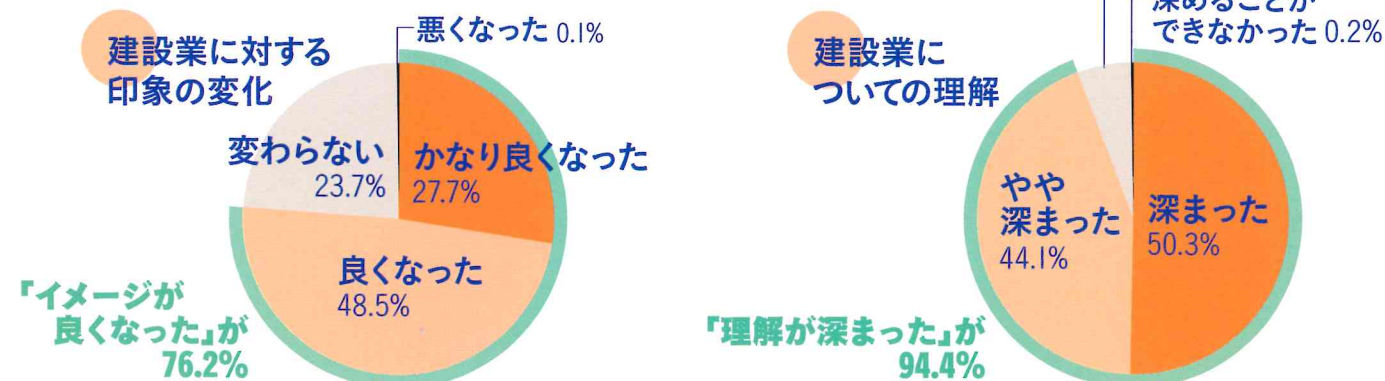
「知りたい」と「知ってほしい」を結び、 “建設業”という選択肢を広げる機会に。

■「つなぐ化」事業とは？

私たちが暮らす社会の土台づくりを担っている建設業。その建設業界の未来をつくっていく担い手を育てるために、生徒の「知りたい」と、建設事業者の「知ってほしい」を結ぶさまざまな機会を創出することで、若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図る事業です。学校側の対象は、生徒・教員のほか、保護者の方々の参加を推進しています。建設業の仕事の内容や醍醐味などを相互理解するまたとない機会を、キャリア教育の1つとしてぜひご活用ください。



■昨年度参加者の声 ※令和5年1月時点



建設業の「理解が深まった」、「イメージが良くなった」という声が多数を占めています。

<「つなぐ化」事業の取り組み>

●建設のプロの「出前授業」 技を体験!



地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介します。簡単な実作業などを行うプログラムもあり、プロの技を間近で見ることができる絶好の機会です。

<プログラムの流れの一例>

- 1 建設事業者からの挨拶 会社紹介
- 2 建設業について説明 (仕事内容や魅力など)
- 3 テキストやビデオによる建設事例の紹介 実技演習 (組立て) など

●リアルな現場を訪問! 「現場見学会」



地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学します。工事の規模や背景、使用機材などを実際に目で見て肌で感じると同時に、仕事内容や就労環境などを知ることができます。

<プログラムの流れの一例>

- 1 建設事業者からの挨拶 会社紹介
- 2 見学する現場の状況説明
- 3 実際の現場を見学

●仕事の「?」を聞く「意見交換会」



地域の中小建設企業・団体などと、高等学校などの生徒・教員が一堂に会し、就職や就労環境、建設業界の現状などについて意見交換を行います。学校側からは建設業界への疑問や要望を、建設事業者からは業界が求める人材像などを伝え、相互理解を深める機会となっています。

<プログラムの流れの一例>

- 1 事業者からの挨拶 会社紹介
- 2 意見交換スタート (●建設業の仕事の魅力とは / ●建設業界の将来展望について / ●建設業界への就職状況 / ●若手社員・女性社員の体験談 など)

●その他「インターシッポ^(※)」等

(※) 勧誘等の採用活動や、取得した情報の採用選考活動への活用を行ってはいけません。